



2008ITUトライアスロンワールドカップ石垣島大会レース直前情報1 大会を控えて有力選手が健闘を誓い合う

世界各国から89名の選手が参戦

4月11日(金)、沖縄県石垣市の大濱信泉記念館で、13日(日)に開催されるNTTトライアスロンジャパンカップ第1戦・ITUワールドカップ石垣島大会に先立ち、有力選手の記者発表が行われた。司会は山根英紀JTU強化本部マネージャー。

出席した選手は、海外と日本ナショナルチームから各男女1名ずつ。海外からはシドニー・オリンピック男子金メダリストのサイモン・ウィットフィールド(カナダ)、昨年のワールドカップ最終戦エイラート大会女子優勝のニコラ・スピリグ(スイス)。日本選手はスピリグと同様、エイラート大会優勝者であり、昨年の日本選手権の覇者、田山寛豪(チームテイケイ)、女子はエイラート大会2位と大健闘した井出樹里(トーチンパートナーズTeam Ken's)が参加。

また、ITUでテクニカルディレクターを務めるレスリー・ブキャナン氏も同席し、「各国で開催されているワールドカップのなかでも、石垣島大会は13年という歴史あるレース。ここまで続いてこれたのは決して偶然ではなく、スタッフのすばらしい運営や、石垣島の皆様のご協力があったこそ」と称えた。

4選手とも今シーズンは初のワールドカップ参戦となるが、井出とスピリグは昨年のエイラート大会のランでサイド・バイ・サイドを繰り広げたことが記憶に新しい。その両選手に対し、今回にかける意



会見に出席した各選手ほか。左から山根強化本部マネージャー、井出、田山、ウィットフィールド、スピリグ、ブキャナンITUテクニカルディレクター

井出 樹里
トーチンパートナーズTeam Ken's



今回、またスピリグ選手と一緒に走れることで、「今度こそ」という思いもあるが、何より、幼いころから目指していたオリンピックの舞台に近づきつつあることがうれしい。いまは北京に向けた、結果が残せる走りを見せたいと思っている。

田山 寛豪
チームテイケイ



この石垣島大会が自分にとって今年初めてのレース。今シーズンが始まる前から、石垣島大会を初戦にして良い流れをつくり、北京オリンピックにつなげていきたいと思っていた。「良い流れ」とは、優勝すること。それを目指して頑張っていきたい。

JTU Official Sponsors & Official Partners



P.1/P.2

気込みが尋ねられた。

前はスピリグが制したが、「コースでポイントとなるのは、ランのアップダウンだと思う。また走りでも勝負したい」と井出が語ると、スピリグは「前は幸運なことに私が勝つことができたけれど、石垣島大会では難しいと思う。井出選手はランがとても素晴らしい選手だし、ここは日本だからもちろん彼女のほうが声援も多いだろうから」と返した。

一方、シドニー以来2度目となるオリンピックでの金メダルを目指すウィットフィールドは、「金メダルは眺めるだけでもすばらしく、いくつ持っても良いものだと思うけれど、いまはチェベール・ゴメス(スペイン)という強豪がいる。彼は非常に強い選手なので、私が再び金メダルを獲得することはそう簡単ではないだろう」と言い、ともにオリンピックでメダルの競り合いに参戦したい田山は、「尊敬するウィットフィールド選手と戦える喜びをバネにして、自分の力を高めていきたい」と語った。

ワールドカップ石垣島大会には、10日(木)の時点で、このほかにも世界各地から男女合わせて89名の選手が参加する。また、明日12日(土)には、同会場で日本ナショナルチームの記者発表が行われる予定。

なお北京オリンピックには5月3日(土)のASTCアジア選手権グアンズー大会(中国)に優勝、または6月8日(日)のITU世界選手権バンクーバー大会(カナダ)で3位に入れば出場決定となる。そのほかの出場選手たちは今回の石垣島大会を含めたITUワールドカップ、そのほかのITUコンチネンタルカップでポイントを重ねるオリンピック出場ポイントの順で、出場が決定する。各国の最大出場選手枠は、3名まで。



和やかなムードのなか会見は終了したが、レースは明後日に迫っている

ニコラ・スピリグ
スイス



私にとって、今シーズンがこの石垣島大会が初戦。第1戦はいつも神経質になるので、いまもまだどういったレース展開になるかは自分自身でも分からない。ただし石垣島が初戦になることはすばらしいことと思っているので、何とか10位以内には入りたい。

サイモン・ウィットフィールド
カナダ



実は私が初めてワールドカップに参戦したのが、いまから12年前、1996年に開催した石垣島大会だった。だから、この大会にはとても思い入れがある。初めて参戦した12年前といまとは私自身もまったく違うと思うけれど、とにかく今回も臨めることがうれしい。

JTU Official Sponsors & Official Partners

